

将来の進路に向かって

堀江中
校長室より

ほりえ

誇り
理想
笑顔
11月号

H27
11. 30



発行者
中西利彦

進路説明会 進路懇談会

10月31日(出)
9月~13(金)

先月号で、「20歳の皆さん、10年後の皆さん、20年後の皆さんを想像してください。」と提案しました。想像してみたいような生活を送っているのではありませんか？

先月号で、「20歳の皆さん、10年後の皆さん、20年後の皆さんを想像してください。」と提案しました。想像してみたいような生活を送っているのではありませんか？

将来の進路に向かって

ご協力ありがとうございました。 2年生 職場体験

12(木)・13(金)

将来の進路を考えるために、2日間、55か所の地域の事業所の協力のもと、2年生は職場体験をさせていただきました。すべての仕事を体験することは不可能ですが、「働く」とはどういうことを生徒に考えさせ、自分の進路を見つめさせて、将来、自分の人生をどのように過ごすのか、職業について学習したり、社会のマナーや厳しさなどを体験する、地域社会の一員であることの自覚を培うという目的で行ったものです。ご協力いただきました企業・事業所の方々に厚く感謝申し上げます。

普段学校で指導されている「あいさつや服装・返事・聞く態度・ことば使い、さらには体調管理や心のありようなど」が社会ではこれほど大切なことが、直接触れてみる機会を得られました。

このような体験を通じて、自分をよく見詰め、これからは、自分にはどのような良い面があり、どのような

な苦手な面があるのかを見つめながら、中学校での生活を有意義に過ごし、社会に出た時、自分の才能が十分発揮できるように、今、基礎固めをしてください。



お世話になった事業所一覧表 (順不同)

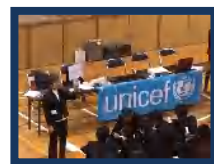
- 大和家具
- 関西スーパー南堀江店
- 食品館桜川店
- ライフ西大橋店
- ライフなんば店
- ダイキなんば店
- イオン大阪ドームシティ店
- 大野記念病院
- 日新会ケアビレッジ九条
- 北堀江病院
- 西区在宅サービスセンター
- すみれ動物病院
- 大阪動物医療センター
- Dogs Come Home
- DOGGIE HOUSE BAMVISH
- 特別養護老人ホームなにわ
- 日生病院
- 多根総合病院
- メリーガーデン保育園
- 西保育園
- 西六保育園
- YMCA あわさ保育園
- 浪速さくら保育園
- ソフィア南堀江保育園
- 川口聖マリア幼稚園
- 福音幼稚園
- 鈴の音保育園
- 日吉幼稚園
- 堀江幼稚園
- 梅本保育園
- 中央図書館
- 西区役所
- 西税務署
- ドーム前千代崎駅
- 西長堀駅
- 千日前線桜川駅
- 住吉団子本舗
- ル・ピノー
- 村嶋(和菓子)
- 杵屋京セラドーム大阪店
- マクドナルド南堀江関西スーパー店
- サイゼリアなんばOCAT店
- ロイヤルホスト桜川店
- かこの屋大阪ドームシティ店
- タナカユキ株式会社
- プライダルコスチューム石川
- NHK大阪放送局
- 産経新聞社
- ホテルモントレグラスミア大阪
- ジュンク堂書店
- 郵便事業(株)大阪西郵便局
- (株)りそな銀行桜川支店
- (株)三菱東京UFJ銀行九条支店
- 大阪信用金庫西支店



1年生 ユニセフ(国際理解)学習協力

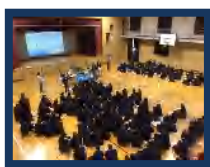
11/13 (金)

将来 みんなが住みよい社会をつくるためには、自分のこと以外にも関心を向け、様々な人たちが快く過ごせる社会をつくるのが大切です。今回1年生は、ユニセフ(国連児童基金)の国内委員会大阪ユニセフ協会の協力で、世界で起きている問題を実感する目的で、13日(金)に体育館で学習会を行いました。

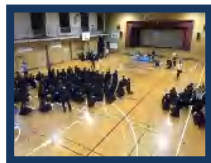


ー世界がもし、100人の村だったらー

ユニセフの活動の説明の後、生徒にカードが配られました。そのカードを使って、ゲーム形式で学習します。そのカードには地域(アジアやアフリカなど)、識字(文字が読める、読めないなど)、富(富裕や貧しいなど)が世界を100人に見立てて世界の現状を参考に記入されています。そして、地域別に集まったり、文字が読める読めないという条件で集まったりしながら世界の現状を体感するというものです。自分の知っている範囲だけでなく、世界に目を向け、皆さんの置かれている状況が恵まれた状況である



ことを実感することにも、困っている人々の状況を学習し、自分ができることは何かを考える機会にしてほしいと思います。



道徳研究授業、研究発表会

11/20 (金)



20日(金)、1年4組、2年3組の学級で、道徳の研究授業を行いました。1年生の教材は小学校でも使われている「泣いた赤おに」。2年生は、



一人一人が経営者

堀江中学校 矢野太士

僕にとって「税金」とは、知っているようで実は全く知らない、そんな存在です。ニュースや新聞でよく「税金」という言葉を目にしますが、正直、深く考えたことは、一度もありません。しかし、大人になればそんなことは言っていられないので、この作文を通して、僕たちの身近にある税金について学習してみました。

まず、税金は僕たちが生活する中で、無くてはならないものです。学校、警察、道路など僕たちが日々の生活の場として利用するものはほとんど税金が関わっています。そんな税金は、国民である僕たちが出し合っています。つまり、自分たちが受ける社会保障や教育は自分たちが買っているということです。僕はこの仕組みを、改めて素晴らしいと思いました。人々が税金を出し合い、それらを元手に国や地方公共団体が、国民の生活を、より安心・安全なものにする。税金を通して国民と国が繋がっている。

しかし、日本を飛び出すと、このような繋がりのない国々がたくさん存在します。きちんとした教育を受けることができない、警察が機能していないなど、僕たち日本人にとって考えられないことが他国では普通だったりします。僕は中学一年生の時、カンボジアに行きました。そこでは、学校に行けないどころか、今日生き延びるのも苦しいという子どもたちがいました。僕はその時、改めて、自分は本当に恵まれていると感じました。日本では税金制度のおかげで、これといった不自由なく生活することができます。これは特別なことです。このことを念頭に置いてこれから生活していこうと思います。

ところで、「国」というのは税金を中心に成り立っています。つまり、納税することは「国を支える」ということです。一人一人の納税は小さなものですが、僕も、家族も、友達もみんな納税しているのでとても大きな力で国を支えていることになります。みんなが納税するのをやめると、国は潰れてしまいます。このようなことから考えて僕たちは「経営者」といえるのではないのでしょうか。「国」という大きな組織を国民一人一人が経営している。だから、責任を持つ必要があります。自分たちが納めた税金はどこでどのように使われているのかきちんと理解したうえで、自分が国を支えているということを自覚し、責任を持って納税することが大事だと思います。僕はこれらのことを踏まえて、自分も社会の一員として、誇りを持って税を納めようと思います。



本校の取り組みの柱の一つである情報ツール教育に関連した教材「軽い気持ちで書いたの」というものでした。両方の学級も、よく発言もあり、頑張っている様子が、参観に来られた先生方に伝わり、後の研究協議の中でも生徒の頑張りがよくわかりましたというお褒めのお言葉をたくさんいただきました。その研究協議では、熱心に話し合いが行われ、たくさんの意見が出されました。これらの意見を参考に今後の道徳授業を考えていきたいと思っています。



編集後記

皆さんの授業のようすを見せてもらっています。まだ、数クラスは参観できていません。集中して授業を受けているクラスや楽しそうに笑い声が絶えない授業、発言や発表が活発なクラスなどさまざまな様子がうかがえて楽しいです。ただ、授業に集中できていない人もいます。「誰かに注意されるのを待っていますか?後悔、先に立たず」ですよ。

11月17日(月)に、3年生の「税の作文」と「税の標語」の表彰式が行われました。本校からはたくさん作品が出され、優秀な結果でした。その中で、全国税貯蓄組合連合会会長賞をいただいた矢野君の作文を左に掲載しました。

税の作文、標語 表彰式

★【税の作文】

- 中学生の部
- 全国国税貯蓄組合連合会長賞
3年 矢野太士君
- 西税務署長賞
3年 西川夏菜さん
- 公益社団法人西納税協会会長賞
3年 森田優吾君

★【税の標語】

- 中学生の部
- 最優秀賞
「税金はみんなの笑顔を守ってる」
堀江中学校 3年 藤定花菜子さん
- 優秀賞
・岡本奈穂さん
・宮尾佳歩さん